

以下、本文-----

高齢進行食道がん患者における入院中の筋肉量の変化が予後に与える影響に関する研究

1. 研究の対象

当院で 2016 年 3 月から 2018 年 5 月に食道切除術を施行した 60 歳以上の進行食道がん患者

2. 研究目的・方法

高齢進行食道がん患者における入院中の筋肉量の変化が予後に与える影響を調査することを目的とする。方法は後ろ向きコホート研究で行い、解析対象は、当院で 2016 年 3 月から 2018 年 5 月に食道切除術を施行した 60 歳以上の進行食道がん患者とする。

術前と退院前にバイオインピーダンス測定方式による体組成計を用いて筋肉量を測定し、Skeletal muscle index(SMI)を計算し、術前と退院前の SMI の差を中央値で 2 群に分類する。SMI の変化と死亡の関連は Kaplan-Meier 法、Cox 比例ハザードモデルを用いて検討する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

年齢、既往歴、入院日数、合併症、手術内容、術前治療の有無、生存期間等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者：大阪国際がんセンター リハビリテーション科 橋田直

住所：〒541-8567 大阪府中央区大手前3-1-69

電話：06-6945-1181

-----以上